

おわりに

近年、制度的にも改革が進み、特別支援教育の重要性が強調される中で、その実践も表面的には充実してきたかのように見えます。しかし、私たちが実際に授業を行う現場では、本当に時代が求めている実践の質が高まってきているのでしょうか……。通常の学級（学校）での授業の原点は、特別支援教育での授業にあるといった理念や意気込み（あるいは思い込み）だけが先行している現状はないのでしょうか……。子どもたちは、今の私たちが展開する授業の中で、真の生きる力や豊かに学ぶ力を身に付けることができているのでしょうか……。本研究は、そのような子どもや教師を取り巻く現状に対する様々な反省や疑問からスタートしました。

さて、本研究テーマには、「基軸」という言葉が含まれています。研究に取り組み始めた時期には、このキーワードが、私たちの研究の方向性と内容を難しくしているという意見もありました。しかし、研究部を中心に基礎研究から実践研究へと歩みを進める過程で、授業づくりにおいては、文字どおり「基軸＝基本となり、中心となるもの」は、授業研究の在り方にあるという実感が、徐々に職員の中に染み渡ってきたように思います。

この実感を得るまでの授業研究会を重ねる作業は、想像以上に難しいもので、乗り越えなければならぬ多くの壁がありました。「この子どもの本当のニーズはどこにあるのか。」、「一人一人の子どもにとってこの指導は適切なのか。」、「この環境設定で子どもは学びを深められるのか。」、「この評価方法で次の授業につなぐことができるのか。」など、特別支援学校の授業という非常に多くの要素が絡み合う全体から、もつれた糸をほぐしていかなければなりません。それぞれ子ども観や障害観、発達観の違う教員間で、ほぐした一本一本の糸を、少しずつ丁寧に縦糸と横糸にしながら紡ぐことで、一つの模様（私たちが目指す授業づくりのかたち）にしていく……。そのような地道な努力を必要とする過程の連続だったように感じます。

これまでの2年間で計130回超の授業研究会を実施してきましたが、子どもが豊かに「学び」をはぐくむ授業づくりは、私たちの日常化された授業研究の中にこそ、見えてくるものだと少しずつ確信を持てるようになった気がしています。その確信は、とりもなおさず子どもたちの生き生きと豊かに学ぶ姿が多く場面で見られるようになった事実からくるものです。

しかし、確かに部分的に子どもの変容も確認できましたし、チームとしての学校力や個々の授業力も徐々に高まっている印象はありますが、まだまだ多くの課題があるのも事実です。果たして「基軸」と言えるだけの授業づくりの本質に迫られているのかにも疑問が残ります。また、授業改善における視点の有効性の検証等も十分ではありません。どうぞ、多くの方々に本研究会及び研究紀要等をご覧いただき、忌憚のない御批判、御教示等を賜ることができれば幸いに存じます。

最後に、今回の研究に際し御後援をいただいた鹿児島県教育委員会、鹿児島市教育委員会、2か年にわたり継続して指導・助言をいただいた濱崎信一先生（鹿児島県教育庁義務教育課指導主事）、奥政治先生（鹿児島県総合教育センター特別支援教育研修課研究主事）、福田雅紀先生（鹿児島市教育委員会学校教育課指導主事）に御礼申し上げます。また、本研究においては、鹿児島大学教育学部から、有倉巳幸教授、廣瀬勝弘准教授、中島祥子准教授、今由佳里准教授、廣瀬真琴講師の先生方に、専門的な立場から基礎研究等の段階でアドバイスをいただきました。さらに、共同研究者として日常的に御支援くださった鹿児島大学教育学部障害児教育学科、肥後祥治教授、雲井未歎准教授、片岡美華准教授に深く感謝の意を表します。

平成25年2月1日

副校長 岩本伸一

研究同人

【校長】新名主健一

【副校長】岩本 伸一

【教頭】萩之内 靖

【小学部】有田 成志

【中学部】山之口和孝

【高等部】小久保博幸

新條 嘉一

脇 博美

☆佐藤 誠

白土 暢之

黒木 里香

川添 直人

☆福元 康弘

初村多津子

四元 明美

☆四ツ永信也

前瀧久美子

宮内 文久

柳元香菜美

☆甫立 将章

東屋敷 卓

篠原 麻葉

☆内倉 広大

今村 広海

☆中島絵理子

中村雄治郎

☆鶴田 智美

上屋 文恵

北園菜保美

渡邊 千鶴

飯母有沙子

【養護教諭】蕨迫美由紀

☆：研究部員

【共同研究者】鹿児島大学教育学部

特別支援教育教員養成課程

教授 肥後 祥治

准教授 雲井 未歆

准教授 片岡 美華

【転出】小山 浩平 加治木 守 水野 高明 末廣 剛志 笹河 博幸

野中 啓子 松坂 彩美 正 直子 恵島 光美

研究紀要 第19集

発行 平成25年2月

発行所 鹿児島大学教育学部附属特別支援学校

〒890-0005 鹿児島市下伊敷一丁目10番1号 TEL 099-224-6257

印刷所 有限会社アト印刷

〒890-0861 鹿児島市東坂元二丁目29番1号 TEL 099-247-1605
